

總協  
第二號

寫

軍事機密

部内第24號

總協第二號

南方方面海軍最高指揮官  
南方軍總司令官 間協定覺書

内  
昭和十六年十一月十日

昭和十六年十一月十日

南方軍總司令官陸軍大將寺内壽一

第二艦隊司令長官海軍中將近藤信竹

目次

第一 協同作戰方針

第二 作戰開始

第三 政畧日程、標準

第四 兵力部署

一、南方軍

二、海軍南方部隊

第五 作戰要領

0056

- 一 開戦前對敵處置
- 二 一般作戰要領
- 三 航空作戰要領
- 第六 通信連絡
- 第七 補給基地設營
- 第八 情報交換
- 第九 協定連絡ニ關スル事項

(目次終)

0057

南方軍最高指揮官  
南方軍總司令官  
間協定覺書

## 第一 協同作戰方針

海軍南方部隊及南方軍「昭和十六年十一月六日南方作戰陸

海軍中央協定」(以下中央協定)略稱又ニ準據シ緊密

適切ナル協同ノ下ニ短期間ニ南方作戰ノ目的ヲ完

遂ス

## 第二 作戰開始

0058

一 所命ノ作戰開始日又且ハ南方方面海軍最高指揮官

南方軍總司令官間及以下指揮官間ニ於テハ變更シ

得ナルモ又日發令以前ニ於テハ又日發令ニ関シ南方方面

海軍最高指揮官南方軍總司令官協議ハ上意見具申ヲ

行フコトアリ

二 M<sup>比島</sup>作戰及 E<sup>馬末</sup>作戰ハ空襲及上陸共ニ努メ又日開始

スルモ局部的天候障礙等為一方の作戰行動開始

0059

トナルヲ辞セズ

但シM作戰ヲ於テ先遣隊ハタシ島ヲ含ムノ攻略日程

ハ同方面航空作戰開始日ニ應ジ繰下グルモトス

三 M方面ニ對スル航空第一撃日時ノ繰下ゲ及其新

ナル日時ハ南方方面海軍最高指揮官第十四軍司令官

協議決定ス

四 E方面先遣兵團主力上陸日天候ニ依リ萬一変更

0060

ヲ要スル場合海軍馬來部隊指揮官第三十五軍司令官協

議決定ス

第三 攻略日程、標準

陸海軍協同シテ攻略ニ着手スベキ要域及上陸開始

期日(集合點並海軍單獨ニ攻略スベキ要域及上陸開始期日ヲ併記ス)

X 日	上陸開始	M 作戦	要域(○印ハ海軍單獨)	集合點	記事
	期日				
バタン島				M作戦↓馬公 E作戦↓三厘	

8  
21

MS  
2  
多  
MS  
503  
503  
44  
44  
44

又+3 日頃	又+3 日頃	又+8 日頃	又+8 日頃	又+6 日頃	又+2 日頃	三 項 但 シ 書 ニ 依 ル	又+1 日頃
「ホ ロ」				「タ バ オ 附 近」	「イ ガ ス 附 近」		「ウ イ カ ニ 附 近」 又 「ア カ ニ 附 近」 近 及 「ア パ リ」 附 近
				「タ バ オ ニ 附 近」		「コ タ バ ル 附 近」	
	「ク チ ン 附 近」	「ミ リ 附 近」					
「タ バ オ」	「ミ リ」	「カ ム ラ 灣」	「カ ラ ン 灣」	「パ ラ オ」	「パ ラ オ」	三 亞	馬 公

0062



60  
100  
70+18  
5013大  
1802力  
764515共

276a 日頃	約大 276 日頃	274b 日頃	274c 日頃	274d 日頃	274e 日頃	274f 日頃	274g 日頃
							近 ラモン 湾 附
(聖カニ次)	南部 島本 養老	南部 島本 養老			南部 島本 養老		近 ラモン 湾 附
	附近	附近	附近	附近	附近	附近	
(三亞)	ハリツク	ケニカ	タラカン	メアド	タラカン	メアド	近 ラモン 湾 附

0063

# 第四 兵力部署

## 一 南方軍

其他各方面陸海軍最高指揮官間ノ協定ニ依ル

火 船 X 日 頃	X+60 日頃迄		
		出 來 得 ル 限 リ 「 ア ン ボ ン 」 及 「 ク ロ ボ ン 」	
		「 ス マ ト ラ 」 「 シ ヤ バ 」	「 ハ ラ オ 」
		「 ス マ ト ラ 」 方 面 上 香 港 東 部 の 哇 方 面 「 マ ラ 」 西 部 の 哇 方 面 ↓ 台 灣 香 港	

方 面	兵 力	指揮官名 (參謀長名)	兵力 (集合地又ハ 開戦時ノ 位置)	作戰初期ニ於ケル任務ノ概要
				海軍ト協同シMニ對スル先制空襲ヲ以テ作戰ヲ開始ス其ノ先遣諸隊

0064

總司令官陸軍大將寺内壽一

<p>編、卷</p>	<p>M</p>
<p>第五十第</p>	<p>第四十第 軍</p>
<p>陸軍中將 飯田祥三郎</p>	<p>陸軍中將 本間雅晴 (前日正貫)</p>
<p>第五十五師團 (野行) 第三十三師團 (北支) 陸軍中將トシ吉 初近衛師團主</p>	<p>第十六師團 (南日滿島) 第十八師團 (主力色河) ヲ基幹トシ 第五飛行集團 (日島)ヲ配 屬ス</p>
<p>第三十五軍ノ作戰ヲ容易トシタル爲 海軍ト協同シ開戦初頭泰國中 部ニ進駐シ同國ノ安定ヲ確保スル ト共ニ第三十五軍先遣隊ト同時ニ 「ポライケニアツプキトリカン」「バンドン」 「ヤコン」ニ上陸シ各飛行場ヲ占</p>	<p>ハ航空第一撃ノ前日夕以降其ノ集合 点ヲ出發シ陸海軍協同シテアパリ及 「ピカン」又「ラオアタ」並「レカスピール」 「ババ」附近ニ上陸シ先ツ航空基地 ヲ占領ス 航空部隊ハ右ニ伴ヒ航空基地ヲ推 進シテ航空作戰ヲ續行ス 軍主力ハ邊々モ作戰十五日頃迄ニ主 カヲ以テ「リンカエン」灣附近ニ 一部ヲ以テ「ラモン」灣附近ニ上陸ヲ 開始シ速カ「マニラ」ヲ攻略ス</p>

0065

(總參謀長 陸軍中將 塚本 田口 芳 政誠郎)

面 方 正 及 旬 軍		
第 三 第 三 團	第 二 十 五 軍	第 二 十 五 軍
陸軍中將 菅原道大	陸軍中將 山下奉文 (陸軍中將 鈴木宗作)	陸軍中將 諫山春樹
第三飛行團(佛印) 第十飛行團(佛印) 第十一飛行團(佛印)	近衛師團(佛印) 第三師團(先遣) 部隊三亞殘余 (台灣) 第十八師團(先遣) 部隊三亞三力廣 東)ヲ基幹トス	力(佛印)ヲ配 屬ス
第三十五軍及第十五軍ノ作戰ニ協力 スルノ外勉メテ空ヲ基地ヲ推進シテ敵 航空勢力ヲ撃滅ス	海軍ト協同シ南榮(清境ニ依リ)コ ノパールヲ奪ハシニ對スル急襲上陸ヲ以テ 作戰ヲ開始スルヲ本則トス 有カナル先遣兵團ヲ以テコシゴラ、コ パール、ゴタニ、ゴタル附近ニ急襲上 陸シ方メテ前方ニ地歩ヲ獲得シテ航 空基地ヲ占領整備シ新嘉坡攻略 作戰ヲ準備ス 軍主力ハ日頃南部泰ニ上陸シ速カ ニ新嘉坡攻略作戰ヲ開始ス	領整備ス 又同時チンポンニ上陸シテ成ル可ク 速ニクイクトリヤポイントヲ占領ス 尚爾右ノ編組作戰ヲ準備ス

五

0066



南方		作戰
南方	比島	部隊名
南方	南方	指揮官名
		參謀長名
第一戰隊	第一戰隊	兵力開戰時之位置
第二戰隊	第二戰隊	第一戰前後之任務概要
第三戰隊	第三戰隊	開戰初頭馬公方面ニ在リ尔後敵情並作戰ノ進捗情況ニ依リ
第四戰隊	第四戰隊	概算進出
第五戰隊	第五戰隊	
第六戰隊	第六戰隊	
第七戰隊	第七戰隊	
第八戰隊	第八戰隊	
第九戰隊	第九戰隊	
第十戰隊	第十戰隊	

二海軍南方部隊

備考一上陸作戰ノ爲第一次輸送區分及上陸日程ノ概要附表第一ノ如シ

二前號以外開戰時東船待機シアル部隊及其船舶ノ概要附表第二ノ如シ

面
獨
隊
印

0068







信(行)參謀長海軍少將

佛印南及部	印
馬來部隊	北島部隊 以テ高(成)
<p>南遣艦隊 司令長官 海軍中將 小沢治三郎</p>	<p>海軍少將 (市村俊久)</p>
<p>南遣艦隊 第七艦隊 第八艦隊 第九艦隊 第十艦隊 第十一艦隊 第十二艦隊 第十三艦隊 第十四艦隊 第十五艦隊 第十六艦隊 第十七艦隊 第十八艦隊 第十九艦隊 第二十艦隊 第二十一艦隊 第二十二艦隊 第二十三艦隊 第二十四艦隊 第二十五艦隊 第二十六艦隊 第二十七艦隊 第二十八艦隊 第二十九艦隊 第三十艦隊</p>	<p>特別陸戰隊 四隊 幹トク 主力部隊 奄美大島 方面 一隊 七方面</p>
<p>大連五 輕巡二 驅一六 潛八 水空三 航空 兵力 戰美</p>	<p>水偵 四</p>
<p>一所在方面敵艦艇撃滅 二開戦時方頭第十五軍及第三十五軍 一部ヲ泰國南部(バンコク)ニシテ シニテ(暹羅)ニ據陸連 航空基地ヲ確保スルト共ニ陸軍ト 協同對馬來航空作戰ヲ實施ス 三開戦後成ルベク速ニ陸軍ト協同 ヲシテ次テクチニテ攻略急速</p>	<p>印作戰ヲ開始シ先ツメナト次テ ニテリト、マカツタルヲ攻略スルト共 ニ陸軍ト協同ヲタラカシ、ヨリック パン及パンチエルマシニテ攻略機 ヲ見テアンボン、グラーパンヲ攻略ス ニ比島周辺一部水路機雷戦突 施 六比島及南支那海方面交通線 保護</p>

七

0071

隆萬石白

<p>木ルホ<sup>7</sup>及印蘭島比</p>	<p>面方來馬</p>
<p>航空部隊</p>	
<p>第二航空艦隊司令長官 海軍中將 塚原三四三 海軍少將 大西瀧治郎</p>	<p>海軍少將 澤田虎夫</p>
<p>第一航空艦隊司令長官 海軍中將 坂井三郎 海軍少將 坂井三郎</p>	<p>中島比島部 陸軍少將 坂井三郎 海軍少將 坂井三郎</p>
<p>航空 兵力 艦七二 中改 一四四 艦一八</p>	<p>水偵三 陸偵六 部隊二部ヲ進出セシム</p>
<p>一 比島ニ對スル先制空襲取以テ 作戦ヲ開始シ速ニ自方面敵航 空兵力ヲ撃滅ス 二 作戦ニ進捗ニ伴ヒ漸次基地ヲ 進出シテ蘭印方面敵航空兵力 ヲ撃滅ス 三 第一作戦海面ノ索敵ヲ行ヒ敵 艦ヲ發見次第之ヲ捕捉撃滅ス 四 コミリ、コクチン、占領ニ伴ヒ一部</p>	<p>五 馬來、ホルネオ方面機雷敷設 及潜水艦戦 六 比島部隊 七 馬來、ホルネオ方面機雷敷設 及潜水艦戦</p>

0072

區分時期 南方軍

第五作戰要領  
 一 開戰前對敵處置  
 (1) 反擊及進攻(進入)

	面方印蘭及島比	面方才
部附屬	潜水隊	
直率	第五潜水戰隊司令官 海軍少將候爵 醍醐忠重	
特務艦運送 船約三隻 各補給基地運送	第五潜水戰隊 第六潜水戰隊 (一部欠) ヲ基幹トス (比島方面)	
工一 病一 運三	潛八	輕過一
治療等 補給輸送工作救難	三機雷敷設 四敵海底雷線切斷	兵カヲ同方面ニ進出對馬來 航空戰ニ参加ス 比島蘭印方面ニ於ケル 一要地及主要水路ノ哨戒監視 二敵艦艇奇襲 三機雷敷設 四敵海底雷線切斷

0073

英軍進=入タシ合場		敵先制攻
上月	發令アラバ機ヲ夫七ス第十五軍一部(近衛師團)歩兵約六大隊及第三飛行集團一部ヲ以テ泰國中部ニ進入ス又一部(近衛師團)歩兵約六大隊及海路ヲアラフニアツキキリカニヲ占領シ飛行場ヲ整備ス	青中 一各地ニ於テ陸海軍協同シテ侵攻スル當該國軍ヲ邀撃スル外英軍泰ニ進入シタル場合ノ作戰ヲ行フ ニ進攻進入作戰實施ノ別命セラル
上月中旬	發令アラバ機ヲ夫七ス第十五軍一部(近衛師團)歩兵約六大隊及第三飛行集團一部ヲ以テ泰國中部ニ進入ス又一部(第五師團)歩兵約三大隊以テ海路ヲアラフニアツキキリカニヲ占領シ飛行場ヲ整備ス	一各地ニ於テ陸海軍協同シテ侵攻スル當該國軍ヲ邀撃スル外英軍泰ニ進入シタル場合ノ作戰ヲ行フ
上月下旬	發令アラバ機ヲ夫七ス第十五軍一部(近衛師團)歩兵約六大隊及第三飛行集團一部ヲ以テ泰國中部ニ進入ス又一部(第五師團)歩兵約三大隊以テ海路ヲアラフニアツキキリカニヲ占領シ飛行場ヲ整備ス	一各地ニ於テ陸海軍協同シテ侵攻スル當該國軍ヲ邀撃スル外英軍泰ニ進入シタル場合ノ作戰ヲ行フ
上月下旬	發令アラバ機ヲ夫七ス第十五軍一部(近衛師團)歩兵約六大隊及第三飛行集團一部ヲ以テ泰國中部ニ進入ス又一部(第五師團)歩兵約三大隊以テ海路ヲアラフニアツキキリカニヲ占領シ飛行場ヲ整備ス	一各地ニ於テ陸海軍協同シテ侵攻スル當該國軍ヲ邀撃スル外英軍泰ニ進入シタル場合ノ作戰ヲ行フ

上ノ記ノ作戰ノ方面ニ於テ英軍泰ニ進入シタル場合ノ作戰ヲ行フ  
E上ノ記ノ作戰ノ方面ニ於テ英軍泰ニ進入シタル場合ノ作戰ヲ行フ  
E上ノ記ノ作戰ノ方面ニ於テ英軍泰ニ進入シタル場合ノ作戰ヲ行フ

(イ) 無線通信制限

(ロ) 敵情偵知  
開戦前陸海兩軍ハ穩密裡ニ敵情ヲ偵察謀知シ  
獲得セル情報ハ特ニ速ニ交換スルニ努ム

備考	合場ルタケ受ヲ撃
	青 旬以降
ニ別命セラル	<p>ニ直ニ進攻ノ能ハシキヲ整ヘ南方方面海軍最高指揮官 南方軍總司令官協定ノ上成ルベク速ニ進攻作戰ヲ開 始ス但シ航空進攻作戰開始自時ハE方面ニ在リ テハ海軍馬來部隊指揮官南方軍總司令官M方面 ニ在リテハ南方方面海軍最高指揮官第丁四軍司令官ト 協議ス</p> <p>三 前ニ號ハ場合ニ於テ尚七日ノ發令ナキ場合ニ於ケル進 攻作戰開始ハ別命セラルルモノトス</p> <p>米國軍ヨリ先制攻撃ヲ受ケタル場合泰國ニ進入スルヤ否</p>

九

~~0075~~

0075

陸海兩軍ハ各軍内ニ於ケル無線通信管ヲ勵行ス  
ト共ニ兩軍間ノ無線通信量ヲ極減スルニ努ム

## 二 一般作戰要領

(1) 要域攻略ニ關シテハ第三攻略日程ノ標準ニ依リ作戰ス  
但シE作戰先遣兵團ハ「コタバル」ノ上陸日次ニ關シテ

ハ天象及防備情況等ヲ考慮シ海軍馬來部隊  
揮官第二十五軍司令官間ニ於テ協議決定ス

其他細項ニ關シテハ各下級指揮官間協定ニ依ル

## (4) 海上護衛

0076

(一)空船ノ歸航及陸軍補給輸送患者後送兵力等  
進輸送等ニ對シテハ情況ニ依リ海軍指揮官(南方  
方面海軍最高指揮官又ハ比島(蘭印)部隊指揮官  
馬來部隊指揮官)ニ於テ航路及行動ヲ制限  
スルコトアリ

但シ本制限ガ爾後ノ作戰ニ大ナル影響アリト  
認ムル場合ハ南方方面海軍最高指揮官(南方軍  
總司令官間或ハ現地陸海軍指揮官間協  
定ニ依ル

0077

(三) 陸軍兵力轉進時ニ於ケル護衛ニ關シテハ(四)項ニ依ル

(三) 其他細項ニ關シテハ各上陸兵團指揮官護衛艦隊指揮官間協定ニ依ル

(四) 兵力轉進及陸海軍兵力交代

島ホ口島守備兵力交代

同島占領後守備兵力交代ニ關シテハ海軍比島部隊指揮官第十六軍司令官間協定ニ依ル

(四) タラカン及アンボヒ守備兵力交代

0078



同地域占領確保後ノ守備兵力ノ交代ニ關シテハ  
海軍蘭印部隊指揮官第十六軍司令官間ノ  
協定ニ依ル

(三) 第四十八師團(蘭印攻略兵團)轉進

同兵團ノ「マニラ」附近集結完了ヲ概ネ X+55 日集  
合点出發ヲ X+70 日頃ト予定ス

海軍比島(蘭印)部隊指揮官ニ同兵團ノ右轉  
進ニ際シ所要ノ兵力ヲ以テ護衛ヲ行フモトス

(四) 「パンカ島及「スマトラ」島南部攻略兵團(第十六軍

一部)ノ轉進及「スマトラ」島北部方面攻略兵團(第  
二十五軍一部)ノ轉進ニ際シテハ海軍馬來部隊指  
揮官所要ノ兵力ヲ以テ之ガ護衛ヲ行フモノトス

(四)第三十八師團一部(蘭印攻略部隊)轉進

同兵團轉進(自香港至西部爪哇)ニ際シテハ海軍蘭印  
部隊指揮官ハ第十六軍主力(自台灣至南部佛印次ヲ  
至西部爪哇)ト共ニ所要ノ兵力ヲ以テ護衛ヲ行フモノトス  
(六)「アンボン」「グーバ」攻略部隊(第十六軍一部)  
ノ轉進轉用

0080

同部隊轉進轉用(バラオ)一香港間及バラオ又ハ  
香港ヨリ發進一時護衛ニ關シテハ海運蘭印  
部隊指揮官、第十六軍司令官間ノ協定ニ  
依ル

此其他小部隊轉進轉用時ノ護衛ニ關シテハ  
當該陸海兩軍指揮官間ニ於テ協定ス  
三航空作戰要領

別冊第一

第六通信連絡

0081

別冊第二通信ニ關スル協定通

第七補給基地設營

海軍南方部隊ハ主トシテ海軍小艦艇補給為  
機ネ友ニ依リ占領地ニ補給基地ヲ設營(轉送)

×

一 M月作戰方面

(1) モロタ灣(ミンダナオ南部)附近

(2) マナド附近

(3) タラカシ附近

0082

(三) アンボン

二 E.B 作戦方面

「ブルネ」附近

### 第八 情報交換

一 情報ハ速カニ相互交換ス

二 情報通報ノ相互關係反ノ如シ

南	第	聯
遣	二	合
艦	艦	艦
隊	隊	隊
司	司	司
令	令	令
部	部	部

ト南方軍總司令部

第二艦隊司令部

(氣象部)

第十四軍

司令部

第三艦隊司令部

第十六軍

南遣艦隊司令部

第十五軍

司令部

第十六軍

司令部

第十一航空艦隊司令部

第三飛行集團司令部

南遣艦隊司令部

第二十三航空戰隊司令部

第三飛行集團司令部

南遣艦隊司令部

川口支隊本部

右情報通報關係ハ必要ニ應ジ關係陸海軍

0084

指揮官協議之變更スルコトヲ得

三氣象機関相互間ニ於ケル氣象諸元ノ交

換ニ関シテハ第三艦隊司令長官第十四軍

司令官間、南進艦隊司令長官第二十五軍

司令官、第三飛行集團長間、協定ニ依ル

0085

第九 協定連絡ニ關スル事項

一 中央協定第二十四款ニ細部ヲ左ノ通定ム

南遣艦隊司令長官ト川口少將 (西二頁)

第三艦隊司令長官第五航空艦隊司令長官  
第五軍司令官第五飛行集團長 合同協定ス (岩國)

南遣艦隊司令長官第五軍司令官第三十五  
軍司令官第三飛行集團長 第三航空戰隊 (西二頁)  
司令官ハ合同協定ス

二 左ノ如ク關係陸海軍指揮官間ノ會同ヲ定ム

山作戰第四十日頃



四 作戰第百二十日頃

以要スレバ更ニ會同日ヲ追加ス

三 作戰全期間ニ互リ中央協定及本協定ニ基ク細部  
事項ヲ連絡スル爲海軍ハ幕僚各一名ヲ各軍司  
令部及第三飛行集團ニ派遣スル外情況之ヲ許セバ  
主要ナル時機毎ニ陸海軍相互ニ幕僚ヲ派遣シ意  
志ノ疏通情報交換ヲ行ヒ協同作戰方針ノ円  
滑機敏ナル達成ヲ計ル

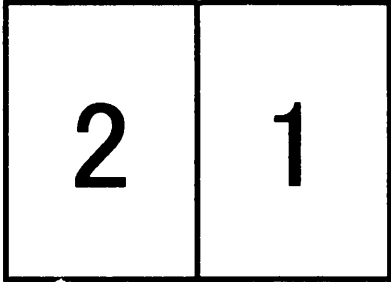
四 前項派遣幕僚ノ任務達成ニ必要ナル援助及給

0087

養各被派遣部隊に担任す

0088

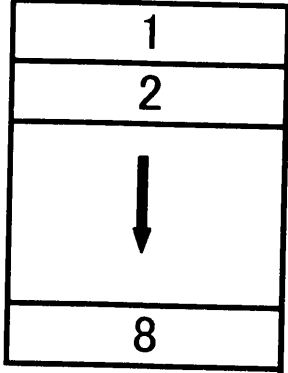
## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	上陸作戦の為第1次輸送区分 及上陸日程の概要一覧表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	



備考	隊支 海南										56										16										48																																																																																																																	
	太	五	三	八	橋	吉	日	松	く	帝	日	日	吳	は	教	漢	は	榛	信	妙	靖	山	妙	松	樂	玄	春	は	高	大	三	和	昭	雄	吉	太	五	三	八	橋	吉	日	松	く	帝	日	日	吳	は	教	漢	は	榛	信	妙	靖	山	妙	松	樂	玄	春	は	高	大	三	和	昭	雄	吉	太	五	三	八	橋	吉	日	松	く	帝	日	日	吳	は	教	漢	は	榛	信	妙	靖	山	妙	松	樂	玄	春	は	高	大	三	和	昭	雄	吉																																							
一 本数量ハ概数トス 二 航ハ航空基地整備ノ為所要人員次員持等ヲ示ス	三五二九	四〇一六	三三三一	二〇七一	一四一三	五八七九	五八七四	七〇七一	五四〇〇	六五五〇	五八五七	五〇三九	五〇三九	五〇三九	四一〇八	六九八七	五〇三九	五〇三九	四一〇二	六七一〇	六九三五	四〇三四	三八二五	九四二八	三八五〇	四〇三七	九四〇七	五四三五	四三三一	六四九四	四九七〇	二七七八	二八〇四	六八〇三	三八七五	九六八三	三五二九	四〇一六	三三三一	二〇七一	一四一三	五八七九	五八七四	七〇七一	五四〇〇	六五五〇	五八五七	五〇三九	五〇三九	五〇三九	四一〇八	六九八七	五〇三九	五〇三九	四一〇二	六七一〇	六九三五	四〇三四	三八二五	九四二八	三八五〇	四〇三七	九四〇七	五四三五	四三三一	六四九四	四九七〇	二七七八	二八〇四	六八〇三	三八七五	九六八三	三五二九	四〇一六	三三三一	二〇七一	一四一三	五八七九	五八七四	七〇七一	五四〇〇	六五五〇	五八五七	五〇三九	五〇三九	五〇三九	四一〇八	六九八七	五〇三九	五〇三九	四一〇二	六七一〇	六九三五	四〇三四	三八二五	九四二八	三八五〇	四〇三七	九四〇七	五四三五	四三三一	六四九四	四九七〇	二七七八	二八〇四	六八〇三	三八七五	九六八三	三五二九	四〇一六	三三三一	二〇七一	一四一三	五八七九	五八七四	七〇七一	五四〇〇	六五五〇	五八五七	五〇三九	五〇三九	五〇三九	四一〇八	六九八七	五〇三九	五〇三九	四一〇二	六七一〇	六九三五	四〇三四	三八二五	九四二八	三八五〇	四〇三七	九四〇七	五四三五	四三三一	六四九四	四九七〇	二七七八	二八〇四	六八〇三	三八七五	九六八三

## 分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3版以上のため</p>
<p>文書等名</p>	<p>開戦時乗船待機しあり部隊 及其の船舶の概要一覧表</p>
<p>上記のとおり分割撮影したことを証明する。</p>	



面										所																				
隊 新 属 配 5D										陸 部 属 隊 180 空 航 部 180																				
(大) 面 方 陸 上 5D										空 航 及 部 5D																				
山藤	墨川	明岸	島取	利根川	島初	下採	朝光	厚木光	百合	玉鈴	長阪	志志	廣へす	望し二	以てあ	龍雲	田紀	田龍	た三子	黒娘	東豊	明元	村光	村光	長野	一真	智福	武石	智利	
四三	五三	五二	八三	五九	五九	五九	五八	五八	六七	六七	三七	五七	五八	五七	五八	六五	五八	五四	五七	五九	五九	五九	四六	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八
			七五						六七	六七			一七						四三											
			13						1	11			5						8											
大 運 海										海 運 西 貢 廣 大 運 高 原																				
11/12 ~ 16/12										20/11 ~ 25/11																				
漸 台										V 9 A . H																				
22/12 21/12										5/12 ~ 10/12																				
4940										800 800 1800 4200																				
439										60 60 1070 473																				
			0	0				0	0	0		0		0				0	0				0	0				0		
									X	X																				





西 方 派												第 隊 新 兵											
及 打 至 160												1/2 ... 330											
東 北 大 熊 日 長 竹 豊 信 北 船 信 玄 甲												海 帯 神 吉 標 神 神 万 小 春 雙 万 東 神 山 天 三 皇											
115 10 10												約 10											
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五												六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六											
大 六 七 七												五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五											
12												29											
28/11												11/12											
15/12 ~ 19/12												22/12 ~ 21/11											
												13267											
												418											
												1002											
O O												O O O O O											
X X																							



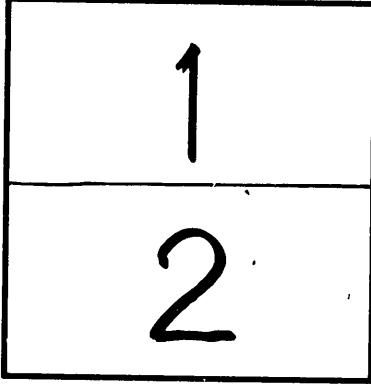








## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	馬來上陸の島船団予定航路
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	









隷下一般ニ與ハル訓示

國邊興隆ノ轉機ニ際シ寺内圖ラズモ南方軍統率ノ  
重任ヲ拜ス予ノ光榮感激何モノ力之ニ加ヘム本職ハ  
各軍司令官以下將兵ノ忠勇ニ信賴シ負托ノ重  
任ニ對ヘ奉ラントス

將兵宜シク今次聖戰ノ本義ニ透徹シ莫ノ重責ヲ  
銘肝シ堅鐵ノ意志ヲ以テ至誠ニ陸海和衷彼  
此協同鞏固ナル團結ノ下各々精強ノ極致ヲ發揮シ  
神武必勝短期間ニ本師ノ目的ヲ達成セムコトヲ期  
スベシ若天レ無事ノ官民衆庶ニ對シテハ綏撫啓誘  
能ク皇軍ノ威徳ヲ顯揚シ枚毫犯スコト勿レ  
地方酷熱ニシテ瘴癘多シ特ニ自重健闘ヲ祈ル  
石訓示ス

昭和十六年十一月十日

南方軍總司令官伯爵 寺内壽一

0400-3